

議事録

第2回 明保中学校学校運営協議会（要点記録）

日時：令和6年7月24日（水）9時00分～10時30分

場所：明保中学校ICT教室

出席：妹尾 久雄委員、小野 修平委員、鈴木 綾委員、吉村 真理子委員、
鈴木 千舞美委員、（校長、副校長）

欠席：早乙女 勇一委員、明保中学校教員2名

・委員6名中5名の出席により本会議は成立

次第1 挨拶

会長：暑いという言葉しか出ないが、体調に注意していただきたい。子どもさんにも厳しい暑さの中でうまく過ごしていただきたい。

校長：1学期、特に大きな事故や事件も起きず無事に終了した。委員の皆様にはご協力いただきありがとうございます。私からは、学校だよりと7月に生徒に取った授業アンケートの結果について触れさせていただきたい。

<学校だより>

先月、水戸市で行われた関東甲信越の校長会の講演で、J2 サッカークラブの方から試合に勝てない理由は「準備不足」であるというお話を聞いて、子どもを受け入れる学校も、準備不足が授業や生活指導に出てしまうなど共通点があり、学校の現状をしっかりと分析することが大事だと感じた。終業式には、子どもたちに、テストの結果を分析して、夏休みに向けて計画を立てて準備して取り組まなければいけないと話した。

<授業アンケート>

昨年と同じアンケートを取って、昨年度と今年度の比較を示させていただいた（別紙参照）。夏休みは2学期の準備期間として、改善できる部分は早急に改善して2学期を迎えたい。子どもたちの授業に対する取り組み方は、教員の授業の進め方、タブレットを使っの授業改善が進んでいるため、ほとんど向上している。2学期は、3年生は修学旅行、2年生は職場体験があるが、基本である授業で、子どもたちの心を掴める学校を目指していきたい。委員の皆様からもお気づきの点があれば、お話していただきたい。本日はよろしくお願いいたします。

次第2 各委員より報告

（1）コーディネーターより

10/12(土)開催予定の明保フェスについて

生徒会役員の話し合いに参加させてもらった。生徒は、タブレットを使っているため、学校に集まらなくても話し合いができています。

・部活動見学体験の準備

実際に見学してもらったり、雨天時は動画で紹介できるようにするなど準備

備を進めている。

- ブース出店関係

地域のお店などをお願いして、出店の交渉を自分たちで行っている。

- 校内ボランティア

ブースでのボランティアという形での募集を行っている。7/19 段階で 30 名程度の希望者あり。

夏休み中は集まらないで、オンラインを使って打ち合わせをしていく予定。

ブースをいくつかコーディネートさせていただく。地域へのイベントのお知らせ方法については考慮中。集まったボランティアの人数の状況で、ブースの形などを固めていきたい。また、2 学期（11/1）は東小育成会と防災講座を予定している。

（2）各委員より

委員：今年も放課後ステイルームを、6/21、24、25 の 3 日間行った。6/21 は 10 名、6/24 は 33 名、6/25 は 32 名、延べ 75 名の参加だった。1 年生が多く、前回に比べて目標を持って来ている子が多くなったと感じた。一生懸命取り組んでいる子が増えたという印象で、この場を大切にしている生徒がいるので、2 学期も行いたい。

育成会主催の防災講座を 11/1 に予定している。2 年生の保護者の方にお手伝いをお願いしたいと思っている。

委員：児童センターは、中学生の利用があまり多くないので、実態を把握しかねる部分があるが、9 月は職場体験に来られるなど、さまざまな行事があるので、できることは協力していきたい。中学生とのコミュニケーションの取り方、企画しているさまざまな事業に呼ぶことも検討している。クッキング、ギターやドラムに触れてもらうなどの企画に中学生が一度参加して、今後児童センターに来やすくなるように検討していきたい。

委員：教師と保護者の会は、7 月に全保護者に対してアンケート調査を行った。アンケート結果を基に検討委員会から、教師と保護者の会とコミュニティスクールに関して提案と相談があった。学校と保護者と地域のつながりは必要であるため、子どもたちのために地域と保護者と連携して運営していきたい。

委員：時代に合わせて、変えていかなければいけない。PTA 保険は、安心して学校に関われるようにするために加入した方が良い。

委員：保険に加入しないで、その時だけのボランティア保険に個人で加入する方法もある。アプリを活用して配布物をなくせば、経費自体の徴収は不要になるかと思う。

委員：コミュニティスクールとも協力して、話し合っていく中で地域とも上手く連携してやっていきたい。保護者の中にコミュニティスクールがもっと浸透すれば、協力しようという方も増えるのではないかと思う。

委員：マイナス寄りの方の考え方が変わっていくように示しても、変わらないと思う。プラス寄りの方々がやりがいを感じて、そういう人が増えていくようにしたい。そこが連携ということだと思う。

委員：話し合う場と動く場を並行してやっていかなければいけない。

委員：保護者全体で学校や地域に関わっていききたい。子どもが卒業してからも地域として関わっていく土台になるのではないかと思う。

副校長：同窓会があればそういうところとつながって、もっと機能的にうまくいく。

委員：子どもが卒業して教師と保護者の会に関われなくても、地域が入ってくれば継続して関われるのではないか。ボランティアだけは参加したいという方は多いが、それをまとめる人が必要になる。

委員：ボランティアだけで良いのではという意見もあるが、そのボランティアをどうやって集めるのかという問題になる。

副校長：検討会が煮詰まってから方向性を決めていきたい。PTA だが、ある程度 OB の保護者の力も借りなければいけない、でもこちら OB と現役のバランスをとっていくこともこれからの課題だと思うので、意見をまとめながらやっていきたい。

(3) 学校より

副校長：部活動地域連絡会が西東京市でようやく立ち上がった。教師と保護者の会が地域と連携することは、部活動と同じことだと思う。そういう部分で持続可能にしていきたい。やれる人、ポジティブな意見を持っている人の存在や影響力を増やして上手くやっていきたい。

校長：1 学期、いろいろとありがとうございました。皆様方からいただいたお話を少しでも活かせるように教職員知恵を出し合っていきたい。2 学期以降もよろしくお願いします。

以上で第 2 回明保中学校運営協議会を終了します。

次回の学校運営協議会は、10 月 4 日（金）14 時 30 分～16 時の予定です。